

やすらぎの里で働き始めて4年！振り返ってみて…



人事担当者が取材しました



令和4年採用(作業療法士)



人事担当者



Q：振り返ってみて、どんな4年間でしたか？

自分や家族が元気なことが、仕事の安定に繋がると実感できた4年間でした。最初は子どもの体調不良で急なお休みを頂くことが申し訳ない気持ちでいっぱいでしたが、上司や同僚の方から「家族を一番に考えて！」と言って頂けて気持ちが楽になりました。気持ちに余裕を持つことで、利用者さまにも親身に寄り添うことが出来ました。

Q：作業療法士となった「きっかけ」、作業療法士として大切にしていること、教えてください。



子どもの頃から両親が経営するめがね屋を継ぐつもりでいました。お店にいらっしゃるお客さまを大切にしている姿を尊敬していたからです。ところが高校生の時、両親にそのことを話すと経営の大変さを考え違う道を進めてくれました。それがリハビリ職です。お客さまに合わせて仕事に向き合う姿勢がリハビリ職も同じだと感じて、この道に進みました。

利用者さまの今後が少しでも良い方向に向かえるように、作業療法士として関わらせて頂きたいと考えています。リハビリの効果がでるためにも、利用者さまから本音を話して頂けるような関係性を築けるように心がけています。

Q：リフレッシュする為に、休日はどのように過ごしていますか？

家族と過ごす時間が一番です。ただ、子どもがまだ小さく手がかかるので、たまに買い物や友人とのランチで一人の時間を過ごすこともリフレッシュになっています。

先日、夫と娘2人で夫の実家に遊びに行きました。子供たちもパパも3人での時間を満喫したようです。私も自分のペースで家事や買い物をしてリフレッシュになりました。

